厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん情報サービスのコンテンツ“病院選びを考えるときに”の評価

研究協力者　国立がん研究センターがん対策研究所　がん情報提供部　髙橋朋子（看護師）
研究協力者　国立がん研究センターがん対策研究所　がん情報提供部　櫻井雅代（看護師）
研究分担者　国立がん研究センターがん対策研究所　がん情報提供部　八巻知香子（部長）
研究代表者　国立がん研究センターがん対策情報センター本部　若尾文彦（副本部長）

要旨

本報告では、 国立がん研究センターがん情報サービスの 2 種類のコンテンツ“病院選びを考えるときに”“病院選び Q&A”について、読みやすさ・わかりやすさ・有用性・実用性・満足度の観点から評価をおこなった。2 種類のコンテンツは病院を選ぶための基礎的な情報源であり、読みやすさ・わかりやすさ・有用性・実用性・満足度で高い評価を得た。しかし、視覚的に理解を助ける工夫や、より具体的で実践的な内容の充実といった改善点もあげられた。

A. 目的

病院を選ぶ際は、どのような視点で病院を選ぶかという情報が重要となる。しかしながら、日本における病院の選び方に関する情報の多くは経験則に基づくものであり、学会が発行する患者向けの診療ガイド、一部の医療機関や患者団体が提供するウェブサイトなど限られた範囲にとどまっている。そこで本調査に先立ち、がん相談業務に従事する相談員へのインタビューや、書籍やウェブサイト等からの情報収集をおこない、病院を選ぶ際のポイントと病院を選ぶときの具体的方法をわかりやすく紹介するコンテンツを作成した[1) 2)]。

国立がん研究センターが提供するがん情報サービスは、がん対策基本法に基づき、「確かな」「わかりやすい」「役に立つ」情報を国民に提供するサイトである[3)]。本サイトで公開される情報は編集委員会による確認や専門家および患者・市民による評価がおこなわれ、情報の公平性や中立性が担保されている[3) 4)]。病院を選ぶ際のポイントと病院を選ぶときの具体的方法を紹介するコンテンツをがん情報サービスに掲載するため、がん情報サービスの編集方針に則り修正をおこない、“病院選びを考えるときに”“病院選び Q&A”のコンテンツを掲載した[2) 5) 6)]。

本報告では、これら 2 種類のコンテンツ“病院選びを考えるときに”“病院選び Q&A”について、読みやすさ・わかりやすさ・有用性・実用性・満足度の観点から評価をおこなった。

B. 方法

（ⅰ）研究デザイン

本調査は、無記名自記式Webアンケートフォームを用いた横断的観察研究である。

（ⅱ）対象者と対象者の募集

対象者は、がん情報サービスに掲載された“病院選びを考えるときに”“病院選びQ&A”のコンテンツ閲覧者のうち、アンケート調査への参加に同意が得られた18歳以上の者とした。

対象者の募集は、両コンテンツの導入部に「アンケートご協力のお願い」を掲載し、Webアンケートのリンクを設ける方法で実施した。これら2種類のコンテンツは、がん情報サービスのSNSやメールニュース、がん診療拠点病院等のがん相談支援センターの相談員が登録されているメーリングリスト、2種類のコンテンツを紹介（QRコードを掲載）する三つ折りリーフレット等で周知した。

（ⅲ）調査項目・期間

本調査の項目は、以下１）２）の計20項目とした。１）回答者の属性や病院選びの経験は計11項目で、年代・性別・居住地や回答者の病院探しの状況・経験等について確認した。２）コンテンツの項目は、コンテンツにいきついた経緯1項目と内容の評価に関する7項目、コンテンツの意見・感想を自由記述で問う1項目の計9項目とした。内容の評価に関する項目は、先行研究における患者向け教育資料の評価内容や日本語版SUS（System Usability Scale）、日本語版user version of MARS（Mobile Application Rating Scale）等を参考に、コンテンツの内容を5段階で評価する質問を作成した。なお、本調査の分析期間は、国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得た2025年4月から2026年3月31日までとした。

１）回答者の属性や病院選びの経験　11項目
　年代、性別、居住地、立場、がんの種類、
　がんの治療経過、健康情報探索の頻度、
　がん情報サービスの認知および閲覧経験、
　病院探しの状況、病院選びの経験、
　病院を選ぶ際の困りごと
２）コンテンツ　9項目
　コンテンツに行きついた経緯、
　読みやすさ、理解のしやすさ、理解の程度、
　有用性、実用性、満足度、総合評価、
　コンテンツの意見・感想（自由記述）

（ⅳ）分析方法

読みやすさ・理解のしやすさ・理解の程度・有用性・実用性・満足度の各項目について、記述統計量を算出した。また、自由記述で得られた意見および感想は、アフターコーデーングをおこなったうえで、分析に用いた。

（ⅴ）倫理的配慮

本調査は、国立がん研究センター研究倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：2024-372）。アンケート調査の実施にあたっては、アンケートのトップページに調査の目的・方法・倫理的配慮等を記載した説明文書を提示し、［私は18歳以上で、研究に協力する］を選択した者のみがアンケートを回答できる形とした。

C. 結果

（ⅰ）回答者の属性や病院選びの経験

回答者は106名であった。回答者の属性と病院選びの経験を、表1・2に示した。回答者の9割が患者本人であり、がんの種類は五大がんから希少がんまで多岐にわたっていた。治療経過については、経過観察中が42.9%と最も多く、次いで治療中が30.5%であった。このため、病院選びについては“過去に探した経験がある”と回答した者が75.2%と最多であり、コンテンツの主な対象である“現在、病院を探している”者は2.9%にとどまった。さらに、過去に病院を探した経験がある回答者のうち、72.0%が病院選びに困った経験があると回答した。病院を選ぶ際の困りごととしては、“病院選びの知識がない”“短時間で病院を選ぶ必要がある”が多く、いずれも半数以上を占めた。また、回答者の居住地は北海道から九州まで広く分布し、特定の地域への偏りは認められなかった。

（ⅱ）コンテンツ

コンテンツに関連した各項目の結果を、表3に示した。本コンテンツにいきついた経緯として最も多かったのは“国立がん研究センターからの案内”で35.8%を占め、次いで“がん情報サービスを見て”が32.1%であった。コンテンツの評価に関する項目では、“読みやすかったか”“理解しやすかったか”“重要性を理解できたか”“新たな気づきはあったか”“役立ちそうか”“薦めたいか”のすべての項目において、“とてもそう思う”または“まあそう思う”と回答した者の割合が半数を超え、それぞれ79.2%、89.6%、85.9%、55.6%、79.2%、82.1%であった。さらに、コンテンツの総合評価においても、“とてもよい”または“まあよい”と回答した者が86.8%であった。

自由記述で収集したコンテンツに対する意見・感想を、表4に示した。まず、コンテンツの分量（文字数）に関連した内容としては、最低限知っておくべき内容だ”という肯定的な意見が聞かれた一方で、“文字が多すぎて、途中で疲れた”といった意見も聞かれた。そのための改善案として、病院選びの全体像がわかる図や内容を反映した要約などが提案としてあがった。次にコンテンツの内容に関連した内容としては、“入口として大いに参考になると思う”“Q&Aがわかりやすくてよい。よくありそうな質問になっている”“具体的ポイントや情報の入手先まで示され、実際の行動に直結する内容になっている”といった意見があった。一方、”総論や一般論としてはよくわかったが、時間がないなかで、病院を決めなければならないので、踏み込んだ情報も欲しかった“といった意見も聞かれた。また、“患者本人と家族の意見が異なるときの対応をくわしく書いてほしい”“病院が自分の思うような状態・環境でなかったらどうしたらいいのかも知りたかった”といった追加で記載してほしい内容もあげられた。

D. 考察

本報告では、“病院選びを考えるときに”“病院選びQ&A”の2種類のコンテンツについて、読みやすさ・わかりやすさ・有用性・実用性・満足度の観点から評価をおこなった。まず、読みやすさとわかりやすさを問う“読みやすかったか”“理解しやすかったか”の両項目において、“とてもそう思う”“まあそう思う”と回答した者の割合が半数を超え、一定の評価が得られたことが示された。一方、自由記述による意見・感想では、がんと診断された直後の患者にとっては文字量が多すぎるとの指摘がみられた。このことから文字だけでなく図やイラストを取り入れるなど、視覚的に理解を助ける工夫の必要性が示された。内容面については、有用性と実用性を問う“新たな気づきはあったか”“役立ちそうか”の項目において、“とてもそう思う”“まあそう思う”と回答した者の割合が半数を超えた。自由記述においても、“最低限知っておくべき内容である”“入口として大いに参考になると思う”といった肯定的な意見が聞かれ、両コンテンツともに基礎的な情報源として一定の評価は得られたと考えられる。一方で、“踏み込んだ情報も欲しかった“といった意見もみられた。本コンテンツでは、病院を選ぶための具体的方法や、状況別のQ&Aを設けることで、行動につながる内容となるよう工夫した。しかしながら、がんの診断直後は混乱し冷静な判断ができる状態にない場合も多いことから、より具体的で実践的な内容が求められていることが示唆された。さらに、患者本人と家族の意見が異なった場合や、病院が思ったような環境でなかった場合などは、個別性の高い課題と考えられる。このような多様で個別性の高い課題に対しては、がん相談支援センターで相談できることをより強調して伝える必要があると考えられた。また、満足度を評価する“薦めたいか”の項目では、“とてもそう思う”“まあそう思う”と回答した者が全体の8割を超えており、これら2種類のコンテンツはいずれも高い評価を得たものと考えられる。

最後に、本コンテンツの周知は、がん情報サービスのSNSやメールニュース等を通じておこなった。その結果、回答者は既にがんに罹患し、治療中または経

過観察中の患者が多く含まれた。したがって、コンテンツの主な対象と想定していた“現在、病院を探している”者は2.9%と少数であった。このため、本調査の結果は、がんの診断直後の患者が実際に求めている情報とは一部異なっている可能性がある点に留意する必要がある。

E. 結論

“病院選びを考えるときに”“病院選びQ&A”の2種類のコンテンツは病院を選ぶための基礎的な情報源であり、読みやすさ・わかりやすさ・有用性・実用性・満足度の観点で高い評価を得た。一方、視覚的に理解を助ける工夫や、より具体的で実践的な内容の充実といった改善点も示された。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

1．論文発表

なし

2．学会発表

なし

H.知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1．特許取得

なし

2．実用新案登録

なし

3．その他

なし

【コンテンツURL】

“病院選びを考えるときに”

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/choose_hospital.html

“病院選びQ&A”

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/choose_hospital_qa.html

【引用文献】

1）厚生労働科学研究費補助金「がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究」2023年度報告書

2）厚生労働科学研究費補助金「がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究」2024年度報告書

3）国立がん研究センターがん情報サービス「サイトの作成について（編集方針・リンク基準など）」https://ganjoho.jp/aboutus/plan/index.html（2026/4/27アクセス）

4）国立がん研究センターがん情報サービス「がん情報作成方法（企画・情報作成・評価）」https://ganjoho.jp/aboutus/plan/flow.html（2026/4/27アクセス）

5）国立がん研究センターがん情報サービス「病院選びを考えるときに」https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/choose_hospital.html（2026/4/27アクセス）

6）国立がん研究センターがん情報サービス「病院選びQ&A」https://ganjoho.jp/public/dia_tre/anatani_shitte_hoshiikoto/choose_hospital_qa.html（2026/4/27アクセス）

表1 回答者の属性(n=106)

項目	人数(%)	項目	人数(%)
年代		”がん情報サービス”の認知・閲覧経験	
30代	3(2.8%)	以前から知っており閲覧したことがある（10回以上）	77(72.6%)
40代	15(14.2%)	以前から知っており閲覧したことがある（10回未満）	16(15.1%)
50代	38(35.8%)	知っていたが、今回初めて閲覧した	3(2.8%)
60代	34(32.1%)	今回初めて知り閲覧した	9(8.5%)
70代	16(15.1%)	空欄／詳細記載なし	1(0.9%)
性別		がんの種類（n=105、複数回答）	
男性	37(34.9%)	乳がん	22(21.0%)
女性	68(64.2%)	肺がん	13(12.4%)
その他	1(0.9%)	前立腺がん	8(7.6%)
		大腸がん	7(6.7%)
立場		卵巣がん	7(6.7%)
患者本人	96(90.6%)	皮膚がん	6(5.7%)
家族・親族	6(5.7%)	膵臓がん	5(4.8%)
友人・知人	2(1.9%)	食道がん	5(4.8%)
医療従事者	1(0.9%)	悪性リンパ腫	4(3.8%)
その他	1(0.9%)	膀胱がん	4(3.8%)
		子宮体がん	3(2.9%)
居住地①(市区町村までの記載をもとに振り分け)		胃がん	2(1.9%)
特別区	6(5.7%)	白血病	2(1.9%)
政令指定都市	25(23.6%)	子宮頸がん	2(1.9%)
中核市	11(10.4%)	神経内分泌腫瘍	2(1.9%)
それ以外の市	42(39.6%)	甲状腺がん	2(1.9%)
町村	3(2.8%)	横紋筋肉腫	1(1.0%)
空欄／詳細記載なし	19(17.9%)	中咽頭がん	1(1.0%)
		腎臓がん	1(1.0%)
居住地②(市区町村までの記載をもとに振り分け)		胆嚢がん	1(1.0%)
北海道・東北	9(8.5%)	胆管がん	1(1.0%)
関東	37(34.9%)	肝臓がん	1(1.0%)
中部	20(18.9%)	空欄／詳細記載なし	9(8.6%)
近畿	13(12.3%)		
九州・沖縄	9(8.5%)	がんの治療経過（n=105）	
中国・四国	10(9.4%)	疑い・診断後～治療開始前	7(6.7%)
空欄	8(7.5%)	治療中	32(30.5%)
		経過観察中	45(42.9%)
健康情報探索の頻度		経過観察終了	8(7.6%)
毎日	23(21.7%)	死亡	5(4.8%)
週に数回程度	29(27.4%)	詳細記載なし	8(7.6%)
週1回程度	16(15.1%)		
月に数回程度	21(19.8%)		
月1回程度	5(4.7%)		
年に数回程度	10(9.4%)		
検索しない	1(0.9%)		
空欄／詳細記載なし	1(0.9%)		

表2 回答者の病院選びの経験

項目	人数(%)
病院探しの状況（n=105）	
現在、探している（これから探すまたは転院先を探しているを含む）	3 (2.9%)
過去に探した経験がある	79 (75.2%)
過去に探した経験もない	23 (21.9%)
病院選びの経験（n=82）	
病院選びに困っている（困った経験がある）	59 (72.0%)
病院選びに困っていない（困った経験がない）	21 (25.6%)
空欄／詳細記載なし	2 (2.4%)
病院を選ぶ際の困りごと（n=59、複数回答）	
病院選びの知識がない	39 (66.1%)
短時間で病院を選ぶ必要がある	36 (61.0%)
病院についての知りたい情報が得られない	26 (44.1%)
候補となる病院が複数ある	25 (42.4%)
病院選びについて相談できる人がいない	22 (37.3%)
候補となる病院が近くにない	18 (30.5%)
家族や友人など（または患者）と意見が異なる	5 (8.5%)
その他	6 (10.2%)

表3 コンテンツ(n=106)

項目	人数(%)	項目	人数(%)
コンテンツにいきついた経緯		有用性（新たな気づきはあったか）	
国立がん研究センターからの案内	38 (35.8%)	とてもそう思う	17 (16.0%)
がん情報サービスを見て	34 (32.1%)	まあそう思う	42 (39.6%)
検索（GoogleやYahooなど）	11 (10.4%)	どちらとも言えない	32 (30.2%)
医療者からの紹介	9 (8.5%)	あまりそう思わない	12 (11.3%)
SNS	5 (4.7%)	全くそう思わない	1 (0.9%)
ページを紹介するリーフレット	3 (2.8%)	空欄	2 (1.9%)
家族や友人などからの紹介	2 (1.9%)		
空欄／詳細記載なし	4 (3.8%)	実用性（役立ちそうか）	
		とてもそう思う	26 (24.5%)
読みやすさ		まあそう思う	58 (54.7%)
とてもそう思う	24 (22.6%)	どちらとも言えない	14 (13.2%)
まあそう思う	60 (56.6%)	あまりそう思わない	6 (5.7%)
どちらとも言えない	14 (13.2%)	全くそう思わない	1 (0.9%)
あまりそう思わない	6 (5.7%)	空欄	1 (0.9%)
全くそう思わない	1 (0.9%)		
空欄	1 (0.9%)	満足度（薦めたいか）	
		とてもそう思う	32 (30.2%)
理解のしやすさ		まあそう思う	55 (51.9%)
とてもそう思う	38 (35.8%)	どちらとも言えない	10 (9.4%)
まあそう思う	57 (53.8%)	あまりそう思わない	6 (5.7%)
どちらとも言えない	9 (8.5%)	全くそう思わない	1 (0.9%)
空欄	2 (1.9%)	空欄	2 (1.9%)
理解の程度（重要性を理解できたか）		総合評価	
とてもそう思う	45 (42.5%)	とてもよい	32 (30.2%)
まあそう思う	46 (43.4%)	まあよい	60 (56.6%)
どちらとも言えない	12 (11.3%)	どちらとも言えない	8 (7.5%)
あまりそう思わない	2 (1.9%)	あまりよくない	4 (3.8%)
空欄	1 (0.9%)	全くよくない	1 (0.9%)
		空欄	1 (0.9%)

表4 コンテンツに対する意見・感想

内容	記述（抜粋）
分量（文字数）に関連	最低限知っておくべき内容だと思う。
	丁寧にわかりやすい言葉を選んで書かれているが、文字が多すぎて、途中で疲れた。診断直後は特に冷静ではないので、文章ではなく図やイラストにするところがあってもいい。
	病院選びの全体像がわかる図みたいなものが欲しい。
	一番トップに目次的な内容一覧と要約があってもいいのではないか。
内容に関連	いろいろな視点があり、入口として大いに参考になると思う。
	患者がまず知りたいという順にポイントが掲載されていると感じた。
	病院の情報を読み取るときに何に気をつければよいかがわかって安心した。
	Q &Aがわかりやすくてよい。よくありそうな質問になっている。
	総論・一般論としてはたいへんよくわかった。ただ、個人的には時間がないなかで、病院を決めなければならないので、踏み込んだ情報も欲しかった。
	実際に動くとなった時に、具体的にまず何からすべきかわからないままな気がする。もう少し具体的な選択の指針になるようなものはできないものか。
	患者本人と患者の家族の意見が異なるときの対応をくわしく書いてほしい。
	病院が自分の思うような状態・環境でなかったらどうしたらいいのかも知りたかった。